

# Market Watching

発表日: 2019年1月7日(火)

## 利上げ回避観測で市場の混乱鎮静へ(マーケットウィークリー)

～パウエル議長はハトの顔を再び見せるか～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

### 【先週の市場動向】

#### 先々週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
12月24日(月)	—				
12月25日(火)	—				
12月26日(水)	米国: S&Pケースラー住宅価格指数(10月)	+5.0%	+4.9%	+5.2%	20都市、前年比
12月27日(木)	日本: 住宅着工戸数(11月)	95.7	96.1	95.0	万戸
	米国: 消費者信頼感指数(12月)	128.1	133.8	135.7	
	米国: 新築住宅販売件数(11月)	発表延期	56.8	54.4	万件
12月28日(金)	日本: 都区部消費者物価指数(11月)・総合	+0.3%	+0.5%	+0.8%	前年比
	・除生鮮食品	+0.9%	+0.9%	+1.0%	前年比
	日本: 労働力調査・失業率(11月)	2.5%	2.4%	2.4%	
	日本: 一般職業紹介状況・有効求人倍率(11月)	1.63倍	1.63倍	1.62倍	
	日本: 鉱工業生産指数(11月)	▲1.1%	▲1.7%	+2.9%	前月比
	日本: 商業販売統計・小売業販売額(11月)	+1.4%	+2.1%	+3.6%	前年比
	ドイツ: 消費者物価指数速報値(12月)	+1.7%	+1.9%	+2.3%	前年比
12月29日(土)	—				
12月30日(日)	—				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

#### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
12月31日(月)	中国: PMI製造業景気指数(12月)	49.4	50.0	50.0	
1月1日(火)	—				
1月2日(水)	中国: 財新PMI製造業景気指数(12月)	49.7	50.1	50.2	
	米国: 自動車販売台数(12月)	1,750	1,740	1,740	万台
1月3日(木)	米国: ISM製造業景気指数(12月)	54.1	58.4	59.3	
	米国: ADP雇用統計(12月)	+271	+175	+179	前月差、千人
1月4日(金)	ユーロ: 消費者物価指数速報値(12月)・総合	+1.6%	+1.8%	+2.0%	前年比
	・コア	+1.0%	+1.0%	+1.0%	前年比
	米国: 雇用統計(12月)・非農業就業者数	+312	+183	+155	前月差、千人
	・失業率	3.9%	3.7%	3.7%	
	・時間あたり賃金	+3.2%	+3.0%	+3.1%	前年比
1月5日(土)	—				
1月6日(日)	—				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	2.668	▲5.1	▲30.1	+54.2	2.642	2.784	2.641
日本	-0.040	▲3.0	▲11.0	▲9.5	0.027	0.090	0.073
ドイツ	0.208	▲3.4	▲5.5	▲22.6	0.243	0.369	0.408
豪州	2.234	▲12.8	▲29.7	▲44.6	2.398	2.590	2.647
株価							
NYダウ	23433.16	+1.6	▲6.4	▲6.5	23677	24909	24974
日経平均	19561.96	▲2.3	▲11.2	▲16.8	20776	21935	22253
ユーロSTOXX50	3041.85	+1.9	▲4.6	▲14.8	3042	3172	3347
上海総合	2514.87	+0.8	▲5.7	▲25.7	2556	2623	2815
為替相場							
ドル/円	108.54	▲1.6	▲3.8	▲3.7	111.61	112.59	111.11
ユーロ/円	123.64	▲2.1	▲3.3	▲9.1	127.02	128.65	129.34
豪ドル/円	77.25	▲0.5	▲6.7	▲12.9	79.69	80.69	81.56
ユーロ/ドル	1.1396	▲0.4	+0.5	▲5.6	1.138	1.143	1.164
商品市況							
WTI	47.96	+5.8	▲9.9	▲22.7	48.37	59.24	65.06
金	1285.8	+0.2	+3.6	▲2.7	1259	1230	1250

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。



年末年始(12/24~1/4)の金融市場は、大荒れの展開となった。昨年末には、米政府のドタバタを背景に米株価はクリスマスイブとしては過去最悪の下げを記録したあと、クリスマス休暇明け後には好調と報じられたクリスマス商戦を材料に急騰するなど、ボラティリティの大きな展開が続いた。年明け後には、米中の製造業景況感の悪化を受けて再び急落、正月休暇明けの日本でも連休中に円が一時急騰したこともあって急落する場面がみられた。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
1月7日(月)	日本：新車販売台数(12月)・乗用車 中国：消費者物価指数(12月) ユーロ：小売売上高(11月) 米国：ISM非製造業景気指数(12月) 米国：新築住宅販売件数(11月)(1/11までに発表)	★★★ ★	— +2.1% +0.1% 59.5 56.9	+8.0% +2.2% +0.3% 60.7 54.4	前年比 前年比 前月比 万件
1月8日(火)	米国：貿易収支(11月)		▲540	▲555	億ドル
1月9日(水)	日本：毎月勤労統計(11月)・現金給与総額 加ダ：金融政策委員会	★★	+1.2% 2.00%	+1.5% 1.75%	前年比 翌日物貸出金利
1月10日(木)					
1月11日(金)	日本：家計調査(11月)・全世帯実質消費支出 日本：国際収支統計(11月)・経常収支 日本：景気ウォッチャー調査(12月)・先行き判断DI 米国：消費者物価指数(12月)・総合 ・コア	★★ ★★★	▲0.3% +5,676 51.2 +1.9% +2.2%	▲0.3% +13,099 52.2 +2.2% +2.2%	前年比 億円、原数値 前年比 前年比
1月12日(土)	—				
1月13日(日)	—				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

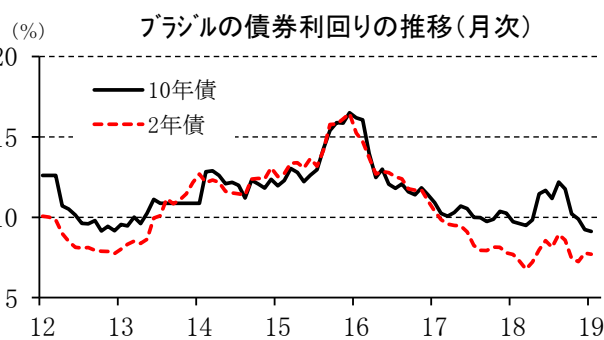
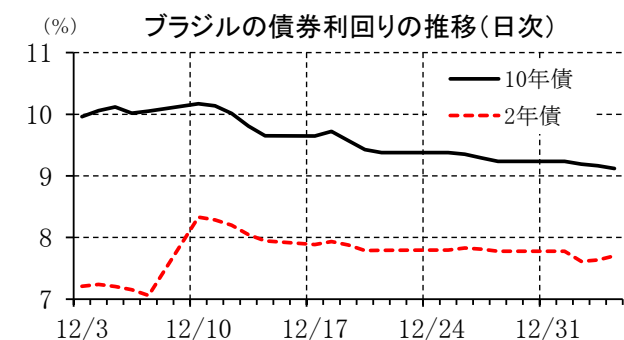
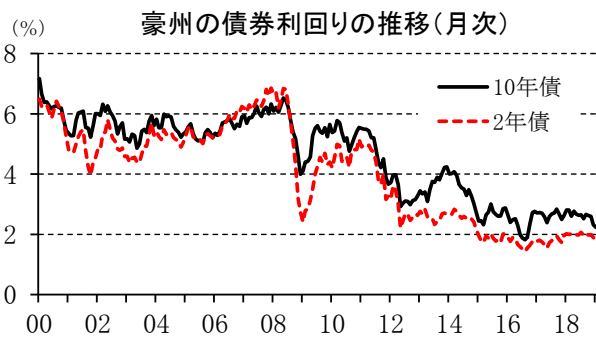
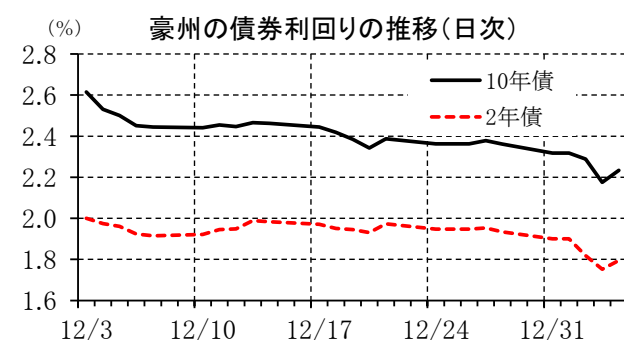
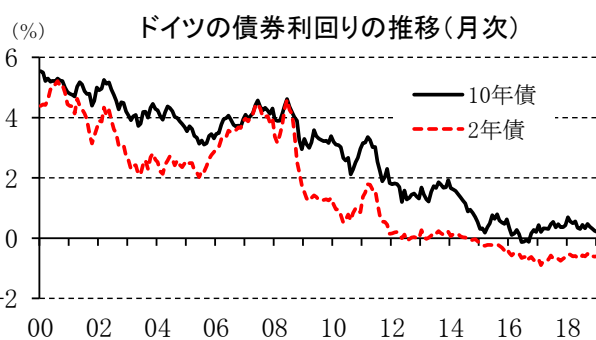
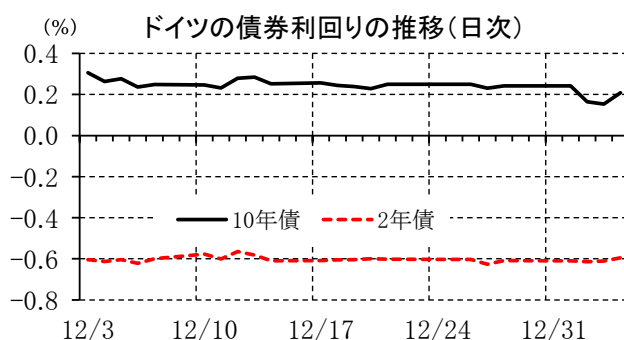
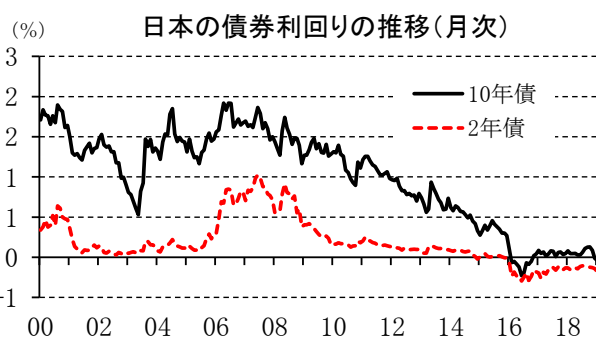
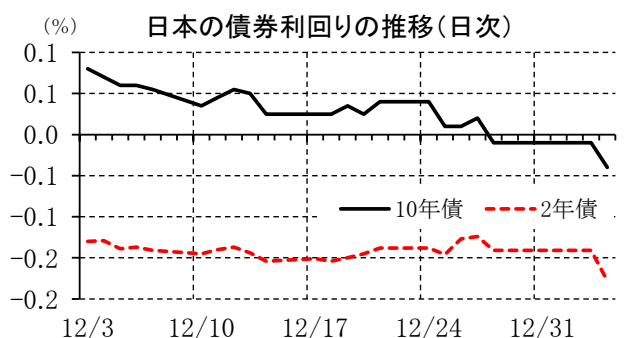
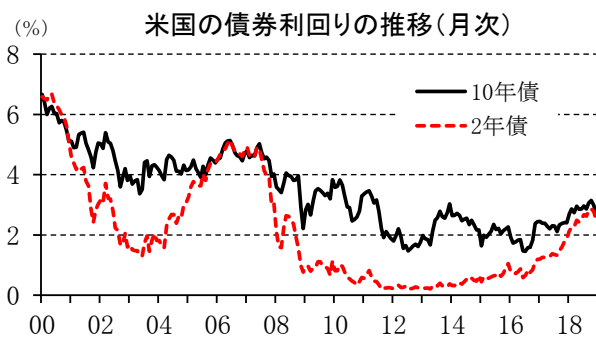
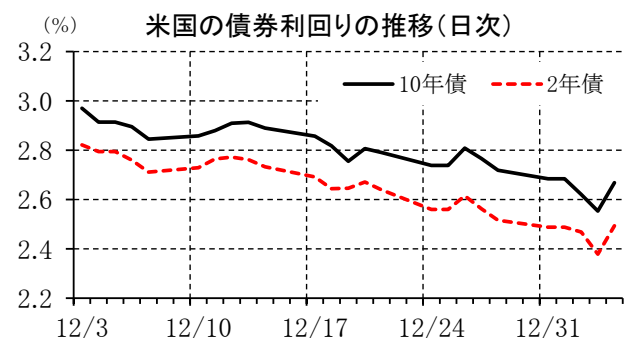
## その他の注目イベント・材料

発表日	イベント	注目度	備考
1月7日(月)	米中次官級通商協議(～1/8)	★★★	
1月8日(火)	世銀世界経済見通し		
1月9日(水)	米国：FOMC議事要旨	★★★	
1月10日(木)	日本：日銀支店長会議 欧州：ECB議事要旨 米国：パウエルFRB議長講演 米国：クラリダFRB副議長講演	★★★ ★★★	
1月11日(金)			
1月12日(土)	—		
1月13日(日)	—		

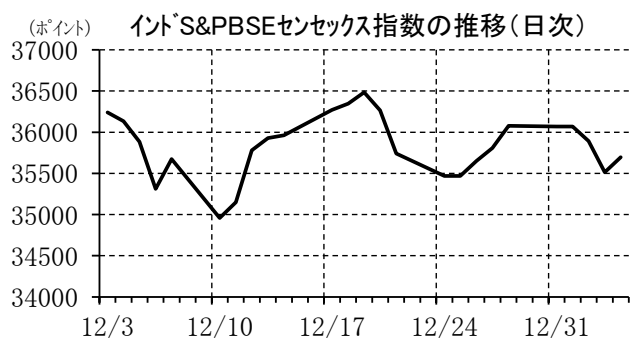
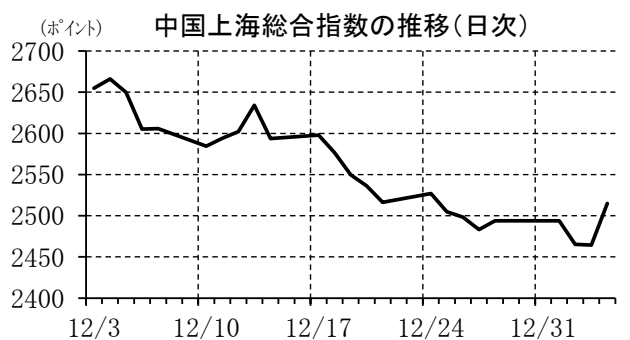
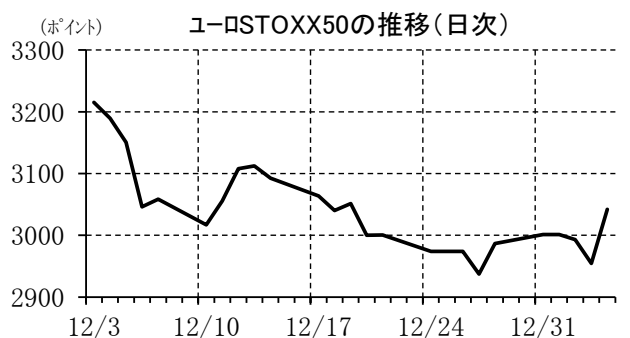
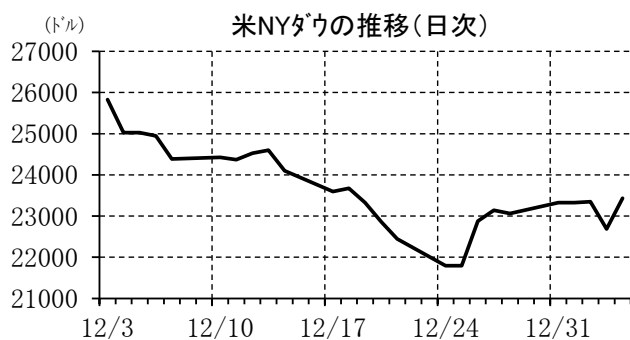
(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

今週のマーケットは、一旦落ち着きを取り戻すと見込まれる。前週末の米国市場では、雇用統計が良好な内容だったことに加えて、パウエルFRB議長が講演会で“マーケットを注視し、柔軟な金融政策運営を行う”といった趣旨の発言を行ったことで、追加利上げが回避される可能性が高まったとの安心感が市場に広まった。この結果、週末の米株価は大幅反発、金利も再び上昇してドルを押し上げた。年末から年始にかけてのマーケットが荒れていた背景には、米国を含めた世界的な景気悪化懸念と、その一方で利上げ継続姿勢を維持しているFRBの金融政策に対する警戒感があった。その中で少なくとも後者（金融政策）に対する懸念が幾分緩和したことで、市場の不安感は相応に後退したと考えられる。株価や金利水準は、市場のリスク回避姿勢が強まったなかでファンダメンタルズに見合わない水準となっていたことから、その修正的な動きがしばらく継続すると予想される。なお、FRBでは議長と副議長の講演が週内に予定されており、市場に配慮した発言が続くようだと、混乱気味にあったマーケットの鎮静化はより明確となろう。もう一つの注目イベントは米中次官級通商協議。前向きなコメントが出るようだと、市場の雰囲気はさらに良くなるだろう。

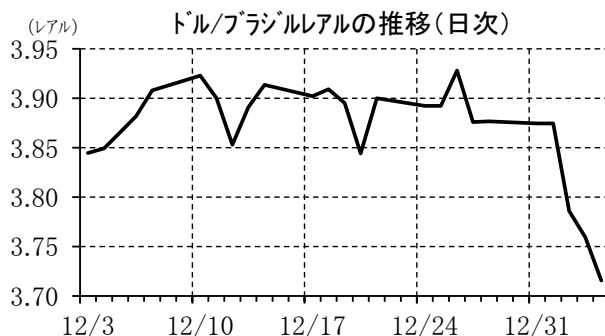
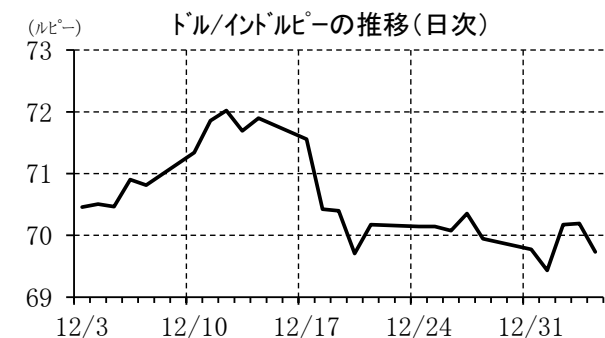
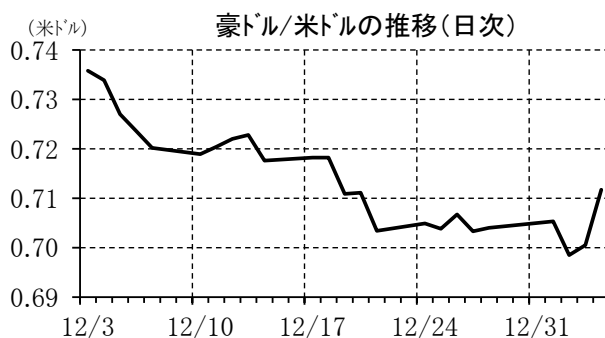
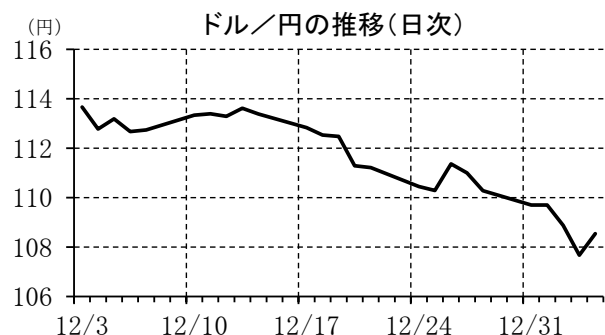
## 【債券利回り】



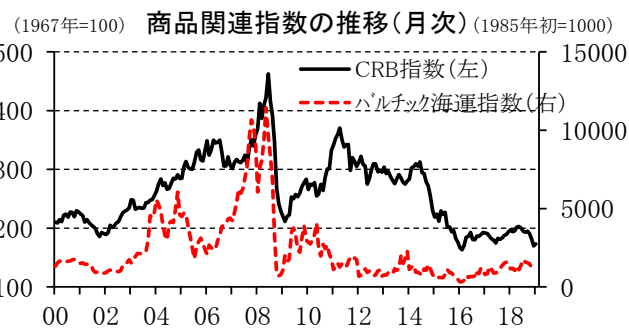
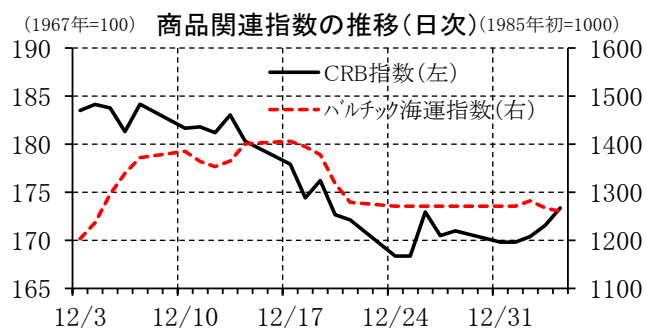
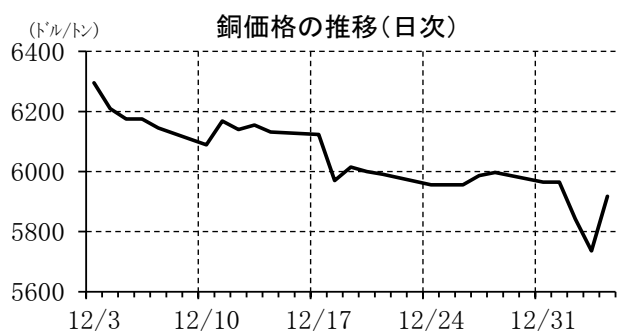
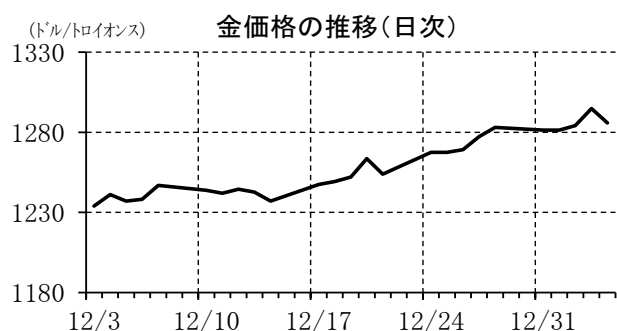
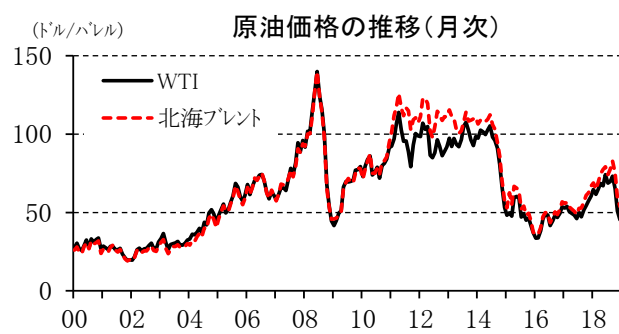
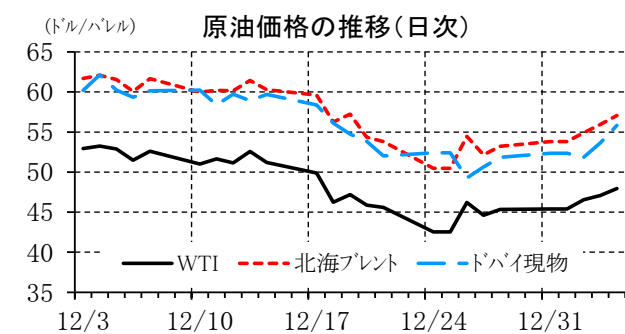
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。